

予算要求課	基盤整備部 都市整備課	内線 2339
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	18	環境政策費
事業名	21820	屋根遮熱塗装等推進事業費						

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		10,000	30,000	20,000	30,000	屋根遮熱鋼板葺替に対する助成を新設 屋根遮熱塗装助成の交付予定件数の増	30,000	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	10,000	30,000	20,000	30,000	30,000		

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
屋根の蓄熱を抑制し室内への貫流熱を抑える遮熱塗装等の普及を積極的に支援し、省エネルギー化による地球温暖化対策の推進と低炭素社会の構築に関する市民意識の高揚を図る。			
事業実施の課題			
事業概要			
民間住宅等の屋根遮熱塗装の施工に対する助成 民間住宅等の屋根遮熱鋼板葺替の施工に対する助成			
計画・実績・見込		H21実績	H22見込
補助金交付件数(件)			
屋根遮熱塗装推進事業補助金		20	100
屋根遮熱鋼板葺替推進事業補助金		—	35
H23計画			
成果			
省エネルギー化による地球温暖化防止と景観の向上に繋がる。			
要求額増減理由			
屋根遮熱塗装推進事業補助金の交付予定件数の増 屋根遮熱鋼板葺替推進事業補助金の新設			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
環境・衛生		
(1)快適に暮らせる環境を整備する		
②地球環境への負荷の低減		
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(6)環境・衛生		
ソフト		
屋根遮熱塗装補助事業		
③事業評価		
事業名	屋根遮熱塗装補助事業	今後の方向性
評価区分	Ⅱ	本事業は、省エネルギー化による地球温暖化の防止とともに良好な景観形成や景気対策に資するなど、費用対効果の高い事業であり、今後も継続していく必要がある。制度創設以降、実績が伸びている状況であるが、更なる制度の周知及び助成対象の拡大の検討など、多くの市民・事業者が利用できる制度として定着させる必要がある。
コスト・成果ポジション	コスト 中 成果 高	
実施方針	「Ⅰ」の水準に向けた改善が必要	
④市長の約束		
8 豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります		
地球温暖化の対策、生物多様性の保全活用など、環境保全は今を生きる全ての人が取り組まなければならない重要な問題であるため、バイオマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など、環境改善につながる取り組みを支援します。 温室効果ガス排出量を2020年までに25%削減(1990年対比)します。		

予算要求課	基盤整備部 都市整備課	内線 2339
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	18	環境政策費
事業名	21821	住宅エコ推進事業費						

新規	継続	拡大	縮小
○			

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		0	120,000	120,000	120,000	1,000件分を計上	120,000	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	0	120,000	120,000	120,000		120,000	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
高山市におけるエコ住宅の新築工事及びエコリフォーム工事を促進し、住宅性能を維持・向上させ、家庭部門における二酸化炭素の排出削減を推進し、地球温暖化対策の促進を図る。			
事業実施の課題			
国の制度が住宅設備(住宅用太陽熱利用システム、高断熱浴槽、節水型便器など)についてもエコポイント対象となる方向であるため、これらについても補助対象とする検討が必要であるが、詳細が不明である。			
事業概要			
住宅エコ改修等に対する助成 住宅エコポイント制度で得たポイント数の1.5倍			
計画・実績・見込		H21実績	H22見込
住宅エコ推進事業補助金交付件数(件)		0	700
			H23計画
			1,000
成果			
エコ住宅の新築、エコリフォームの促進により、地球環境負荷の低減を図ることができる。			
要求額増減理由			
新規事業のため増 (平成21年度3月補正予算を繰り越して事業を実施しているため、平成22年度当初予算無し)			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
環境・衛生		
(1)快適に暮らせる環境を整備する		
②地球環境への負荷の低減		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
8 豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります		
地球温暖化の対策、生物多様性の保全活用など、環境保全は今を生きる全ての人々が取り組まなければならない重要な問題であるため、バイオマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など、環境改善につながる取り組みを支援します。 温室効果ガス排出量を2020年までに25%削減(1990年対比)します。		

予算要求課	基盤整備部 都市整備課	内線 2339
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	5	生活環境費
事業名	41435	アスベスト対策事業補助金						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		4,000	4,000	0	4,000	前年同額	4,000	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	3,000	3,000	0	3,000		3,000	
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	1,000	1,000	0	1,000		1,000	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
アスベスト等の飛散による市民の健康被害を予防し、生活環境の保全を図る。			
事業実施の課題			
当該助成制度普及のための啓発			
事業概要			
民間が実施するアスベスト含有調査及びアスベスト除去等に対する助成			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
補助金交付件数(件)			
アスベスト含有調査	4	6	8
アスベスト除去工事	1	1	1
成果			
アスベストによる健康被害の減少に資する。			
要求額増減理由			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
環境・衛生		
(1)快適に暮らせる環境を整備する		
③公害の発生防止		
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(6)環境・衛生		
ソフト		
アスベスト対策事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	基盤整備部 都市整備課	内線 2339
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	1	都市計画総務費
事業名	74100	建築確認等申請事務費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		744	1,015	271	925	事務費については前年同額 所有車両のリース車両への変更による増	925	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	10	10	0	10		10	
	起債			0				
	その他	734	1,005	271	915		915	
	一般財源	0	0	0	0	0		

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
建築基準法、建設リサイクル法、省エネ法等に係る許認可を適正に行う。			
事業実施の課題			
事業概要			
建築確認申請等の受付・審査			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
建築確認等申請件数(件)	178	170	170
成果			
適正な許認可により、住民の生命、健康及び財産の保護が図られる。			
要求額増減理由			
所有車両の老朽化に伴うリース車両への変更			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
住宅・公園		
(1)誰もが安心して快適に住み続けられる居住環境を整備する		
①良質な住宅環境の整備		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	基盤整備部 都市整備課	内線 2339
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	1	都市計画総務費
事業名	74105	美しい景観と潤いのあるまちづくり推進事業費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		985	985	0	985	前年同額	985	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	191	191	0	184		184	
	起債			0				
	その他	500	500	0	500		500	
	一般財源	294	294	0	301		301	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
美しい景観と潤いのあるまちづくり条例、都市計画法、国土利用計画法等に基づく開発等の申請を受け付け、審査・指導することにより、秩序ある土地利用と美しい景観の創出を推進する。			
事業実施の課題			
事業概要			
開発許可申請等の受付・審査			
計画・実績・見込		H21実績	H22見込
開発許可等申請件数(件)		178	180
			H23計画
			180
成果			
秩序ある土地利用と美しい景観の創出を推進することができる。			
要求額増減理由			

①総合計画		
(1)計画的な土地利用をめざして	(2)「すみよさ」のあるまちをめざして	
土地利用	景観	
(1)住みよい生活環境の実現と市域全体の秩序ある発展を図る	(1)潤いとおちつきをもたらす美しい景観を形成する	
①総合的な土地利用	①個性ある景観の保全	
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(2)景観		
ソフト		
美しい景観と潤いのあるまちづくり推進事業		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	基盤整備部 都市整備課	内線 2339
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	1	都市計画総務費
事業名	74115	都市計画総務関係事務費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	563	355	△ 208	355	負担金などの減	355	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0	161			
起債			0				
その他	563	355	△ 208				
一般財源	0	0	0	194		194	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
都市計画に関する一般的な事務を円滑に行う。			
事業実施の課題			
事業概要			
都市計画に関する一般的な事務(情報収集、知識習得、啓発など)			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
都市計画行政の円滑な実施			
要求額増減理由			
都市計画協会負担金の減額			

①総合計画		
(1)計画的な土地利用をめざして		
土地利用		
(1)住みよい生活環境の実現と市域全体の秩序ある発展を図る		
①総合的な土地利用		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	基盤整備部 都市整備課	内線 2339
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	1	都市計画総務費
事業名	74120	建築営繕等事務費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	5,000	0	△ 5,000	5,000	前年同額	7,000	景気対策に対応するための設計委託料を増
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
起債			0				
その他			0				
一般財源	5,000	0	△ 5,000	5,000	7,000		

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
市有建築物にかかる設計等を行う。			
事業実施の課題			
事業概要			
市有建築物にかかる設計等を行う。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
都市計画行政の円滑な実施			
要求額増減理由			

①総合計画		
(1)計画的な土地利用をめざして		
土地利用		
(1)住みよい生活環境の実現と市域全体の秩序ある発展を図る		
①総合的な土地利用		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	基盤整備部 都市整備課	内線 2339
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	1	都市計画総務費
事業名	74134	建築物耐震総合対策事業費						

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		56,010	74,010	18,000	56,010	件数増の要求であるが、実績により前年同額とする	56,010	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	26,350	37,000	10,650	28,000		28,000	
	県支出金	5,750	5,750	0	5,750		5,750	
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	23,910	31,260	7,350	22,260		22,260	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
建築物等の耐震診断の実施及び耐震性の向上を図り、地震に強いまちづくりを促進する。			
事業実施の課題			
耐震化実施件数の伸び悩み			
事業概要			
民間木造住宅の耐震診断 民間が実施する建築物耐震診断(木造住宅以外)に対する助成 民間が実施する建築物耐震補強工事等に対する助成			
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込
耐震診断実施件数(件)		81	71
耐震補強工事等の補助金交付件数(件)		20	15
	H23計画		202
			41
成果			
建築物の耐震改修が促進され、地震に強いまちづくりの実現が図られる。			
要求額増減理由			
木造住宅耐震補強工事補助金の交付予定件数の増 (住宅の耐震化率を高めるため、さらにPRL、制度の利用を促進する。)			

①総合計画	
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして	
住宅・公園	
(1)誰もが安心して快適に住み続けられる居住環境を整備する	
①良質な住宅環境の整備	
②実施計画・中期財政計画	
3「すみよさ」のあるまちをめざして	
(4)住宅・公園	
ソフト、ハード	
建築物耐震診断助成事業、建築物耐震補強工事補助金	
③事業評価	
事業名	①建築物耐震診断助成事業 ②建築物耐震補強工事補助金
評価区分	①Ⅲ ②Ⅲ
コスト・成果ポ ジション	コスト
	成果
実施方針	①②「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要
④市長の約束	
6 市民の生活と生命・財産を守ります 住宅の耐震化率を90%以上に高めるとともに、防災ラジオの普及率を80%以上に高めます。	

今後の方向性

耐震診断及び耐震補強工事は、安心して住み続けられる環境整備のために必要なものである。
① 耐震診断は補助率100%(無料)の事業であるが、実績は目標件数に達していないのが現状である。このため、効果的な周知方法や、より利用しやすい制度に向けた見直しについて検討を行うなどの対応が必要である。また、非木造住宅については負担が発生するケースがあるため、取扱いの検討が必要である。
② 現在、実績が目標に達していない状況であり、効果的な周知方法や、より利用しやすい制度に向けた見直しについて検討を行うなどの対応が必要である。

予算要求課	基盤整備部 都市整備課	内線 2339
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	1	都市計画総務費
事業名	74140		都市づくり推進事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		1,744	1,394	△ 350	1,394	増刷が必要な地図の減	1,394	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	1,744	1,394	△ 350	1,394		1,394	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
都市計画の決定・変更、都市計画に関する調査、基本計画の策定等を行い、計画的な土地利用と都市施設整備の推進を図る。			
事業実施の課題			
事業概要			
都市計画の決定・変更、都市計画に関する調査、基本計画の策定等			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
都市計画の決定・変更件数(件)	1	1	1
基本計画等の策定・変更件数(件)	3	1	1
成果			
計画的な土地利用と都市施設整備を推進することができる。			
要求額増減理由			
増刷が必要な地図の減			

①総合計画		
(1)計画的な土地利用をめざして		
土地利用		
(1)住みよい生活環境の実現と市域全体の秩序ある発展を図る		
①総合的な土地利用		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	基盤整備部 都市整備課	内線 2339
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	5	景観保全総務費
事業名	74503	緑地保全推進事業費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		37,500	36,950	△ 550	37,100	市指定保存樹等管理補助金については、交付予定件数の減を見込んだ	37,100	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	35,188	34,450	△ 738	35,086			
	一般財源	2,312	2,500	188	2,014	2,014		

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
緑化の推進、緑地の保全、緑化意識の高揚を図る。			
事業実施の課題			
当該助成制度普及のための啓発			
事業概要			
市指定保存樹等の管理に対する助成 里山の購入、里山保全に協力する所有者に対する奨励金の交付 施設緑化用苗木の配布、緑に親しむ日のイベントなどの開催			
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込
市指定保存樹等管理補助金交付件数(件)		23	24
里山購入面積(㎡)		15,000	70,000
緑の保全契約件数(件)		70	72
イベント参加人数(人)		1,124	1,000
成果			
引き続き、良好な自然環境、美観風致の維持とともに、緑化意識の高揚を図ることができる。			
要求額増減理由			
市指定保存樹等管理補助金の交付予定件数の減 (近年の実績を踏まえたことによる。)			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
自然		
(1)恵まれた自然を守り活かす		
①自然環境の保全 ②緑あふれる空間の創出		
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(1)自然		
ソフト ハード		
自然保護保存活動推進事業、緑地保全推進事業、緑のパートナー制度事業、緑化推進事業、自然と親しむ機会充実事業、里山保全整備事業		
③事業評価		
事業名	里山保全整備事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	里山を購入し、市街地に残る貴重な自然環境を保全することは住みよさのあるまちづくりのために必要な事業である。 旧パークボウルの建物解体、スカイパークの整備により事業費が増大したが、障害要因が除かれ公園として整備されたことは大きな成果である。今後も計画的に用地取得を行い、確実に里山を保全していく必要がある。
コスト・成果ポジション	コスト 高	成果 高
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要	
④市長の約束		

予算要求課	基盤整備部 都市整備課	内線 2339
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	5	景観保全総務費
事業名	74505		景観保存奨励事業費					

新規	継続	拡大	縮小
			○

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		11,094	7,592	△ 3,502	8,492	生けがき等設置補助金等については、実績により減事務費については前年並	8,492	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	4,204	1,815	△ 2,389	2,310		2,310	
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
一般財源		6,890	5,777	△ 1,113	6,182	6,182		

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
市街地景観保存区域における保存会活動を支援するとともに、民間事業者等の景観保全活動を奨励することにより、美しい景観の保全・創出を図る。			
事業実施の課題			
当該助成制度普及のための啓発			
事業概要			
市街地景観保存区域保存会が保存計画に基づいて行う事業に対する助成 民間事業者等の生けがき、景観にふさわしい看板・塀等の設置に対する助成 市街地景観保存区域において市の指導等による損失が生じた場合の補償			
計画・実績・見込		H21実績	H22見込
市街地景観保存区域保存会助成件数(件)		12	12
生けがき、塀、看板、一般開放型施設助成件数(件)		3	3
市街地景観保存区域損失補償件数(件)		3	3
景観デザイン賞受賞件数(件)		2	6
成果			
今後も市街地景観が保存されるとともに、景観の向上に繋がる活動が展開され、歴史的風致の維持向上や観光都市としての魅力アップが期待される。			
要求額増減理由			
生けがき等設置補助金などの交付予定件数の減 (近年の実績を踏まえたことによる。)			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
景観		
(1)潤いとおちつきをもたらす美しい景観を形成する		
①個性ある景観の保全 ②あらたな景観の創出		
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(2)景観		
ソフト ハード		
市街地景観保存区域保存事業、生けがき等設置推進事業、高山の景観にふさわしい看板設置推進事業、景観創出活動推進事業、景観デザイン賞表彰事業、一般開放型民間施設整備事業		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	基盤整備部 都市整備課	内線 2339
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	5	景観保全総務費
事業名	74530		景観保全関係事務費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		370	340	△ 30	340	負担金の減	340	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	145	145	0	33		33	
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	225	195	△ 30	307		307	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
屋外広告物許可事務のほか、景観保全に関する一般的な事務を円滑に行う。			
事業実施の課題			
景観形成に対する事業者の理解			
事業概要			
景観保全に関する一般的事務(情報収集、知識習得、啓発など)			
屋外広告物の許可			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
屋外広告物許可件数(件)	683	660	680
成果			
引き続き、景観行政や屋外広告物行政に必要な情報や知識を適切に取得し、円滑な屋外広告物許可事務を行うとともに各種問い合わせ等に対応することができる。			
要求額増減理由			
循環・共生・参加まちづくりネットワーク脱会による負担金の減			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
景観		
(1)潤いとおちつきをもたらす美しい景観を形成する		
①個性ある景観の保全 ②あらたな景観の創出		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	基盤整備部 都市整備課	内線 2339
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	6	公園管理費
事業名	74600		公園管理費					

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		93,359	105,092	11,733	93,792	事務費については前年並 新設公園の芝管理費用等の増	93,792	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	400	400	0	10,834		10,834	
一般財源		92,959	104,692	11,733	82,958		82,958	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
市民や観光客が安心・安全・快適に公園やまちかどスポットを利用できるように適正な管理を行う。			
事業実施の課題			
施設の増加や樹木の成長に伴う維持管理費の増大			
事業概要			
都市公園、地区公園の維持管理 市道の街路樹の維持管理 まちかどスポットの維持管理			
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込
都市公園箇所数(箇所)		35	35
地区公園箇所数(箇所)		38	38
街路樹の管理が必要な市道路線数(路線)		45	45
まちかどスポット箇所数(箇所)		107	109
成果			
適正な維持管理を行うことにより、憩いの場、交流の場としてさらに多くの市民や観光客に利用される。			
要求額増減理由			
新設公園の芝管理費用等の増 街路樹の成長に伴う維持管理費用の増			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
住宅・公園		
(2)誰もがやすらぐことのできる場を創出する		
①特色ある公園づくり		
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(4)住宅・公園		
ソフト		
公園管理事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	基盤整備部 都市整備課	内線 2339
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	6	公園管理費
事業名	74605	公園整備事業費						

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		23,000	29,000	6,000	10,000	まちな庭、里山保全整備については、具体的内容が未定であるため見送り 施設修繕については、12月補正で対応	10,000	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	1,666		△ 1,666	1,666		1,666	
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	21,334	29,000	7,666	8,334		8,334	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
市民や観光客にやすらぎや交流の場を提供するために、公園を整備する。			
事業実施の課題			
「まちな庭」の事業地の選定			
事業概要			
高山城郭整備、まちな庭整備、里山保全整備他			
計画・実績・見込		H21実績	H22見込
公園整備箇所数(箇所)		3	3
成果			
誰もがやすらぐことのできる場が創出され、より多くの市民や観光客に利用される。			
要求額増減理由			
修繕箇所の増			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
住宅・公園		
(2)誰もがやすらぐことのできる場を創出する		
①特色ある公園づくり		
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(4)住宅・公園		
ハード		
公園施設維持修繕・改修事業、まちな庭整備事業、都市公園整備事業		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	基盤整備部 都市整備課	内線 2339
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款 7	土木費	項 4	都市計画費	目 7	快適環境整備費
事業名	74720	歴史的環境保全整備事業費			

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		36,000	38,000	2,000	36,000	前年並の事業費とする	36,000	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	18,500	20,900	2,400	19,800		19,800	
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	17,500	17,100	△ 400	16,200		16,200	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
歴史的建造物を繋ぐ周遊ルートや横丁を整備することにより、歴史的風致の維持向上を図る。			
事業実施の課題			
事業実施箇所沿線の住民の協力(民地内における当該整備と一体となった美しい景観の創出)			
事業概要			
江名子川沿い散策路の整備、東山遊歩道の看板整備、まちかどスポットの整備			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
整備延長(m)	380	890	590
遊歩道看板整備数(箇所)	60	25	30
まちかどスポット整備数(箇所)	1	1	2
成果			
今後も継続して整備を行い、ネットワークを構築することにより、より多くの市民や観光客に利用され、観光都市としての魅力アップにも繋がる。			
要求額増減理由			
修繕箇所の増			

①総合計画			
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして			
景観			
(1)潤いとおちつきをもたらす美しい景観を形成する			
②あらたな景観の創出			
②実施計画・中期財政計画			
3「すみよさ」のあるまちをめざして			
(2)景観			
ハード			
歴史的環境保全整備事業・横丁整備事業			
③事業評価			
事業名	歴史的環境保全整備事業・横丁整備事業	今後の方向性	
評価区分	Ⅲ	本事業の実施により、点在する歴史的文化的財等と結び、新たな観光資源としての利用者の増加が期待できるとともに景観の創出を図ることができる。横丁整備計画の見直しにより整備効果の高い路線や優先度の整理を行い、計画的に事業を実施するとともに、案内施設の整備等により、より多くのひとの往来と出会いの場所となるよう事業を推進する必要がある。	
コスト・成果ポジション	コスト 高		成果 高
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要		
④市長の約束			

予算要求課	基盤整備部 都市整備課	内線 2339
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	5	住宅費	目	1	住宅管理費
事業名	75100	市営住宅維持管理費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		75,726	75,683	△ 43	75,683	負担金の減 管理費については前年同額	75,683	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	905	584	△ 321	584		584	
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	63,945	75,099	11,154	75,099		75,099	
一般財源		10,876	0	△ 10,876	0	0		

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
住宅に困窮する低所得者等に対して、低廉な家賃で住宅を供給することにより、市民生活の安定を図る。			
事業実施の課題			
家賃滞納額の増加			
事業概要			
市営住宅の維持管理			
計画・実績・見込		H21実績	H22見込
市営住宅管理戸数(戸)		822	822
成果			
適正な維持管理を行うことにより、入居者の生活環境が確保できる。			
要求額増減理由			
住宅協会負担金の減			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
住宅・公園		
(1)誰もが安心して快適に住み続けられる居住環境を整備する		
①良質な住宅環境の整備		
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(4)住宅・公園		
ソフト ハード		
市営住宅管理事業、市営住宅(三福寺団地)維持管理事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	基盤整備部 都市整備課	内線 2339
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	5	住宅費	目	1	住宅管理費
事業名	75105		市営住宅施設整備費					

新規	継続	拡大	縮小
			○

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		20,000	15,000	△ 5,000	5,000	突発工事費を計上	5,000	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	7,650		△ 7,650				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	0		0				
	一般財源	12,350	15,000	2,650	5,000			
							5,000	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
市営住宅の整備・改修を進めることにより、入居者の生活環境の快適化を図る。			
事業実施の課題			
事業概要			
市営住宅赤保木団地の床・建具改修等			
計画・実績・見込		H21実績	H22見込
整備戸数(戸)		152	222
			H23計画
			121
成果			
必要な整備、改修を行うことにより、入居者の生活環境が確保できる。			
要求額増減理由			
大規模な改修(赤保木団地の外壁改修)が終了したため。			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
住宅・公園		
(1)誰もが安心して快適に住み続けられる居住環境を整備する		
①良質な住宅環境の整備		
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(4)住宅・公園		
ソフト ハード		
公営住宅維持修繕・改修事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		